

特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会主催
第12回福祉問題の検証シリーズ「児童虐待とソーシャルワーク」
開催要項

【開催の趣旨】

今日の日本においては、児童虐待は一貫して増加し続け、2021年度における児童虐待相談対応件数は207,660件にまで至っている（厚生労働省）。また、件数の増加のみならず、虐待の内容や被害、背景、その後の影響などは、複雑化し多様化し、より深刻化している。我々は未だに子どもたちを守ることができていない。

それ故に、これらに対応する施策としても、社会的養護あるいは家庭的養護のキーワードのもとに、高機能化や多機能化、あるいは小規模化や地域分散化が進められている。そして、ソーシャルワーク実践やソーシャルワーカーへの期待が高まっている。

しかし、一方で、「ソーシャルワーク」の名のもとにおける実践であるにも関わらず、それらは試行錯誤的であり、職人技的であり、制度主体的あるいは支援者主体的である。我々は、今一度、ソーシャルワークの基本に立ち返り、ソーシャルワークの専門価値に基づく専門機能を発揮し、ソーシャルワークの5つのミッションの達成に向けて実践しなければならない。

これらの問題意識に基づき、日本における児童虐待の状況を整理しながら、また、厚生労働省のWGや職能団体である日本SW連盟のプロジェクトの議論なども踏まえ、ソーシャルワークの専門価値と専門機能とミッションを改めて理解し、それらに基づく実践を志向し、あるいはその実践を阻む障壁なども含めて参加者とともに検証することが本研修の趣旨である。

【主 催】 特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会（JASW）

【企画・運営】 特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会研修委員会

【開催日時】 2023年3月25日（土）13時～15時

【開催方法】 オンライン方式（zoom）

【参加対象】 ソーシャルワーカー、児童福祉分野従事者、一般市民

【参加費】 JASW 会員参加（無料）／一般参加（お一人 1,000 円）

【参加方法】 右記のQRコードよりお申込みください。

【内 容】

- ①日本における児童虐待の状況について
高石豪（JASW 研修委員会委員長）
- ②社会的擁護（児童養護施設）におけるSW実践と課題
チョンテヒ（JASW 研修委員会委員）
- ③予防的支援（児童家庭支援センター）におけるSW実践と課題
小山菜生子（JASW 研修委員会委員）
- ④ソーシャルワーカーの機能と役割（総括コメント）
杉山佳子（JASW 副会長・元明治学院大学教授）

参加申込 QR コード



【お問合せ】 特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会事務局

E-mail : jasw@jasw.jp TEL : 03-5913-8871